

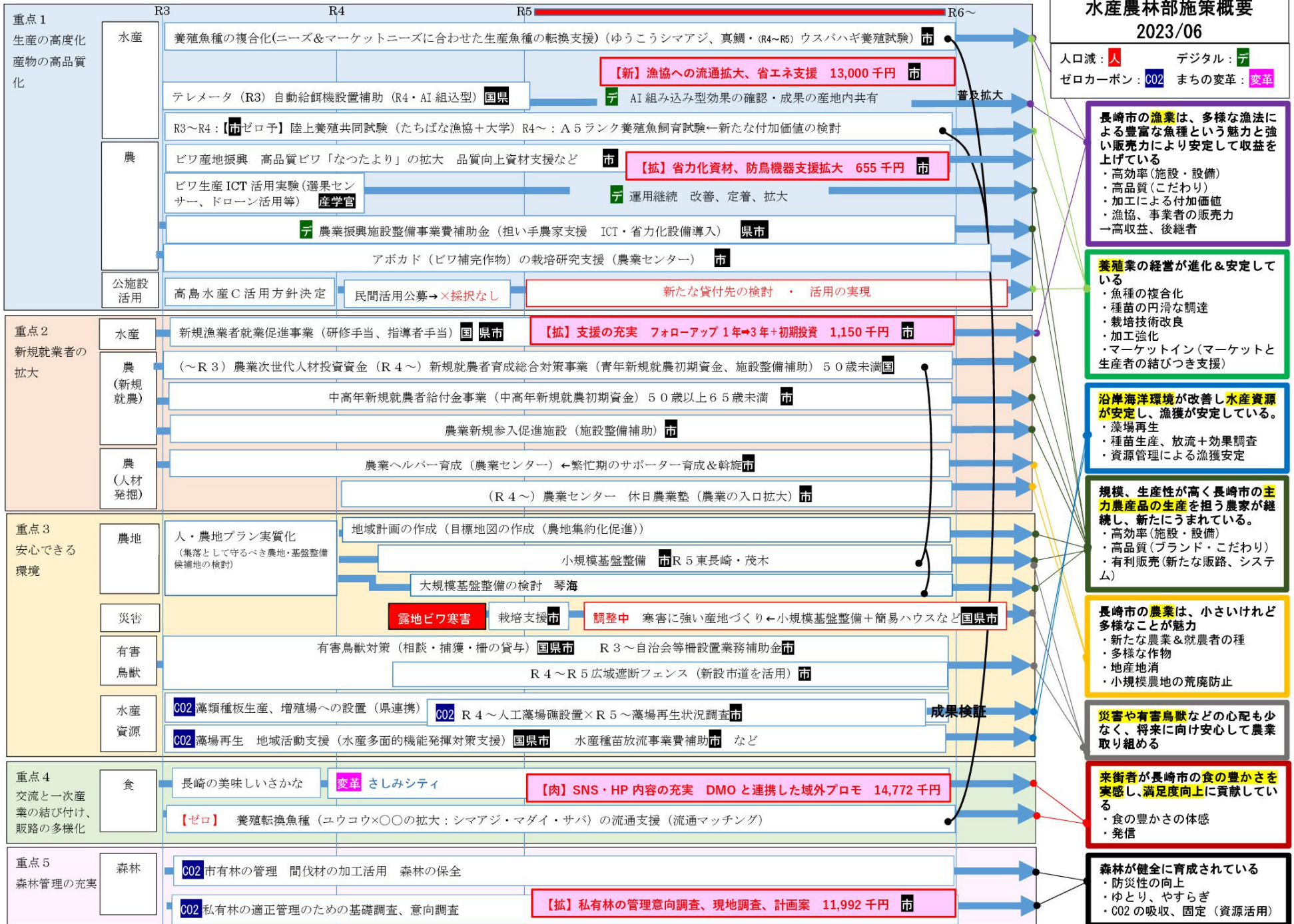
令和5年6月市議会 環境経済委員会資料

第75号議案 令和5年度長崎市一般会計補正予算（第5号）

【目次】	ページ
1 水産農林部の主な事業	2
<u>第2款 総務費</u>	
2-1-20 水族館費	4
<u>第6款 農林水産業費</u>	
6-1-3 農業振興費	11
6-1-5 畜産業費	18
6-2-3 山林管理費	21
6-2-5 林道建設費	25
6-3-1 水産業総務費	28
6-3-2 水産業振興費	33
6-3-3 漁港管理費	54
6-3-5 水産センター費	56

水産農林部
令和5年6月

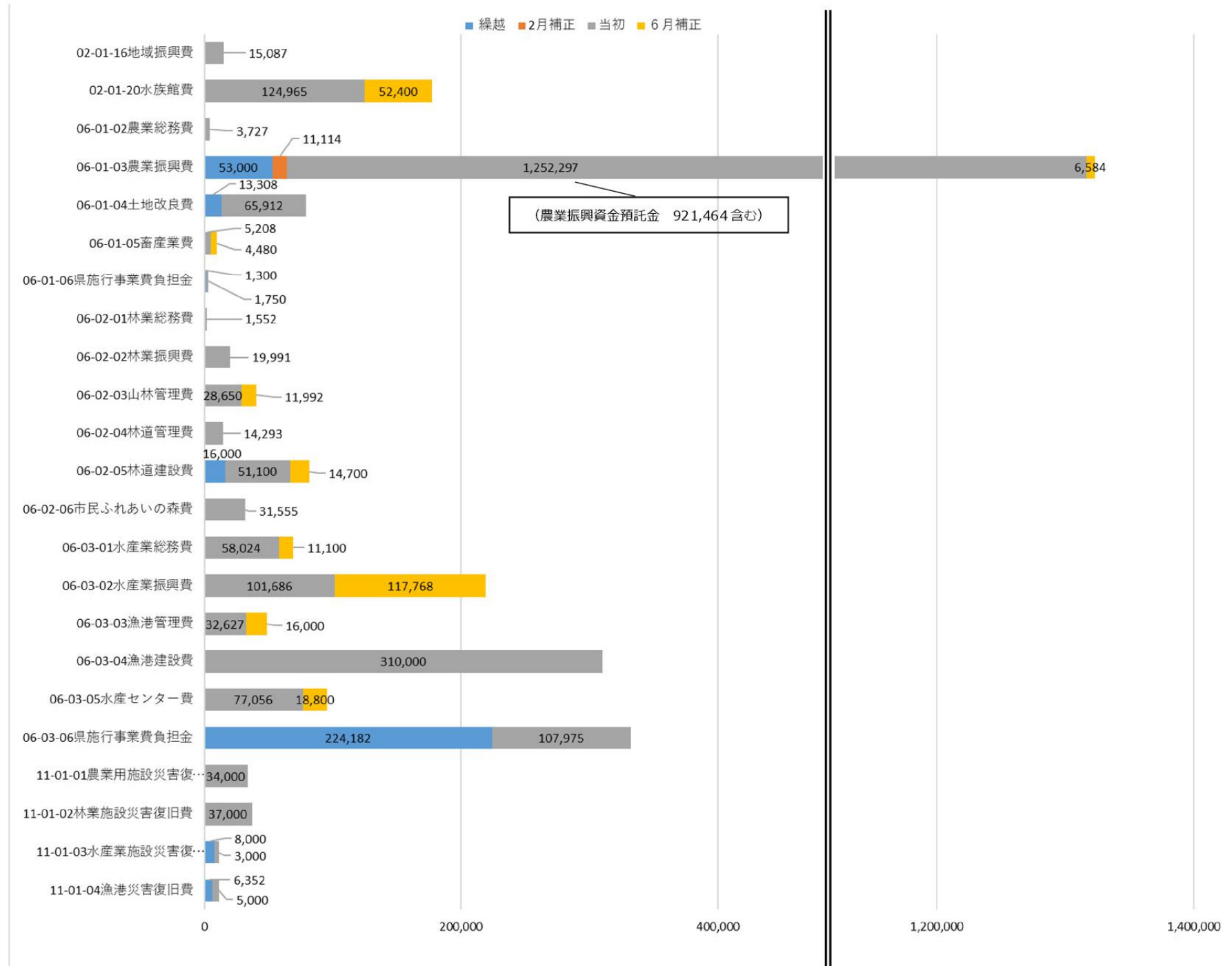
1 水産農林部の主な事業 (1) 水産農林部施策概要



(2) 令和5年度 水産農林部予算の内訳(2款総務費、6款農林水産業費、11款災害復旧費)

予算総額 2,969,535 千円

(単位:千円)

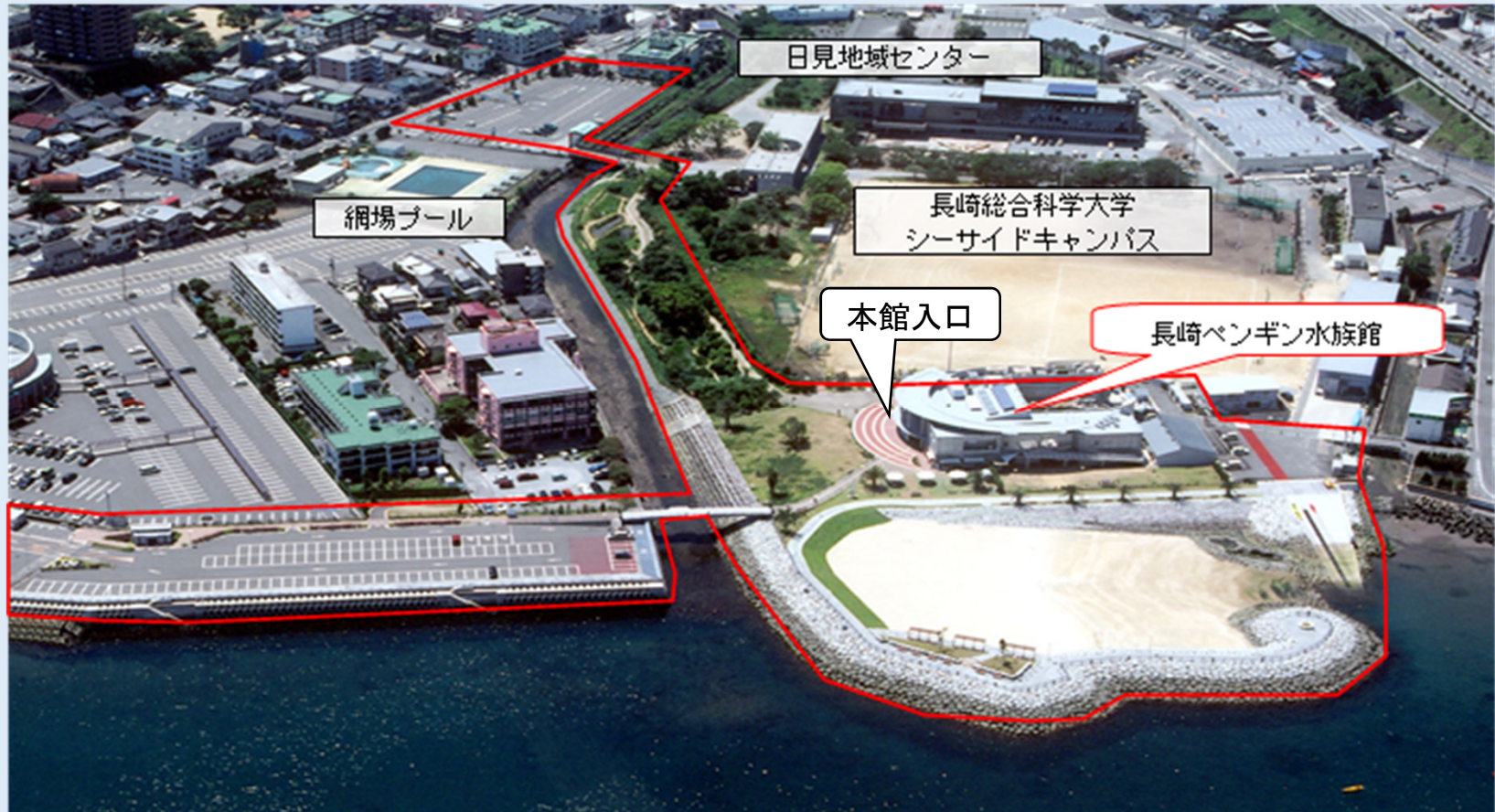


予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
28~29	2 総務費	1 総務管理費	20 水族館費	1-1	【単独】長崎ペンギン水族館施設整備事業費 長崎ペンギン水族館施設整備	千円 52,400

1 概要

長崎ペンギン水族館において、利用者の利便性・快適性を向上するため、入退場管理システムキャッシュレス化及びベビーケアルーム購入を実施するほか、老朽箇所の対応のため、改修工事(3件)を実施するもの。

2 施設全景写真 (長崎市宿町3番地16)



3 事業内容

(1) 入退場管理システムキャッシュレス化

内 容: 既存の入場用券売機をキャッシュレス化し、これに伴う入退場管理システム及び入退場ゲートの改修を実施することで、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、安心してご利用いただける環境を提供するほか、従来よりもスムーズな入場券の購入を実現し、利便性の向上を図るもの。

予算額: 14,905千円

内訳: タッチ式券売機交換 (2台)	7,438千円
システム改修	5,918千円
入退場ゲート移設	1,164千円
その他経費	385千円

【設置予定場所及び参考商品】



3 事業内容

(2) 非常用発電機改修

内 容 : 非常用発電機は、設置から21年が経過していることから、停電等の非常時に観覧者の安全な避難経路及び生き物の生存等を安定して確保するため、点検及び老朽化した部品(フィルターエレメント、冷却水クーラメント、制御装置等)の更新を行うもの。

予算額: 5,622千円

【非常用発電機(本体)写真】



3 事業内容

(3) 電灯盤絶縁改修

内容：本施設は、平成13年の開館以降、21年が経過していることから、電灯設備各所が経年劣化して絶縁抵抗値が低下し、不具合が発生している。また、絶縁抵抗値の低下に伴い、感電や火災の危険性が高まることから、電灯盤の絶縁抵抗値改善を目的として、照明器具(約40台)や配線の取替えを行うもの。

予算額：9,898千円

【電灯盤及び不具合箇所(抜粋)写真】

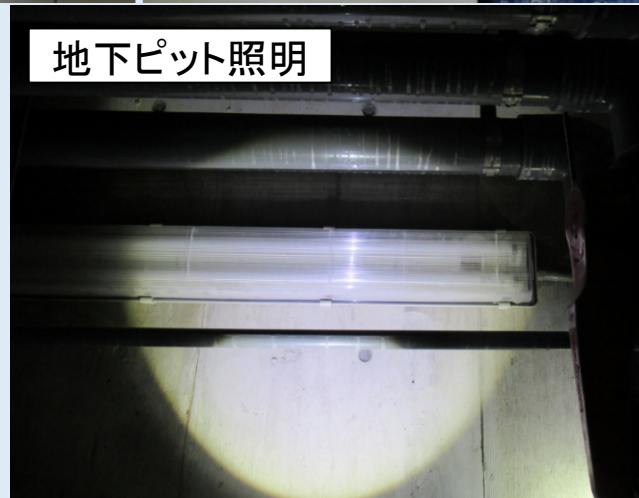
電灯盤



バックヤード2
予備飼育室他照明



地下ピット照明



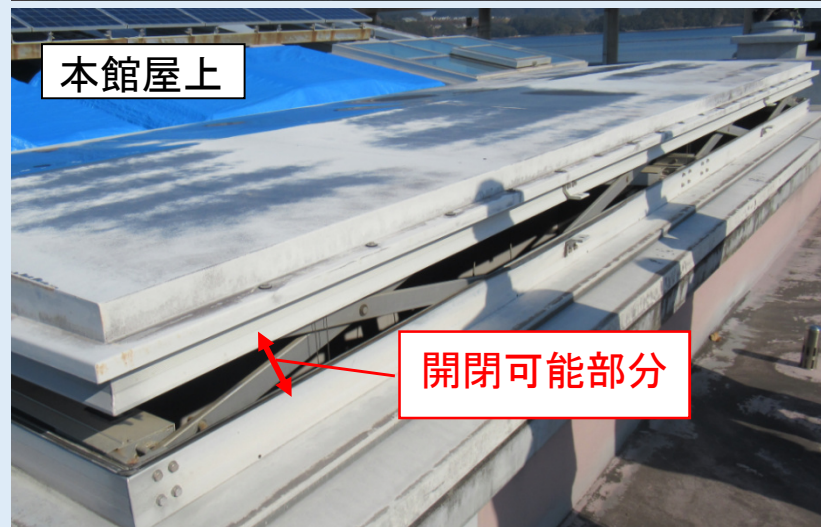
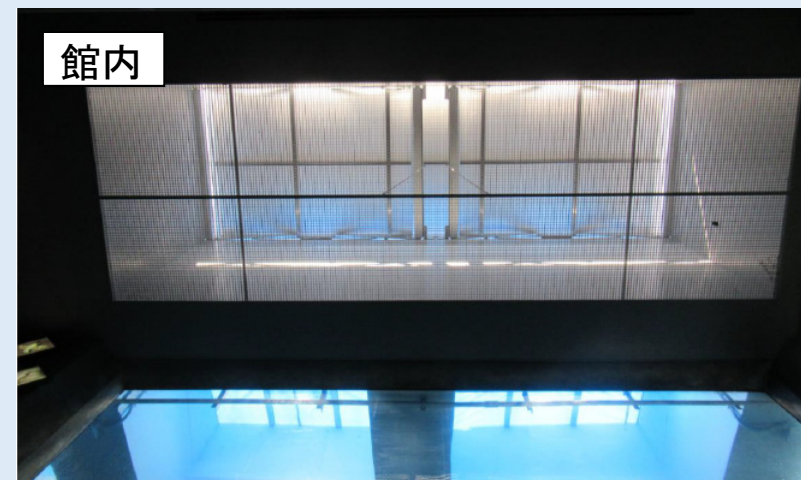
3 事業内容

(4) 排煙トップライト改修

内 容 : 本館屋上に設置している排煙トップライト(排煙装置)について、館内にある開閉スイッチの不具合や内部のバネ劣化が生じていることから、改修を行うもの。

予算額: 18,908千円

【現場写真】



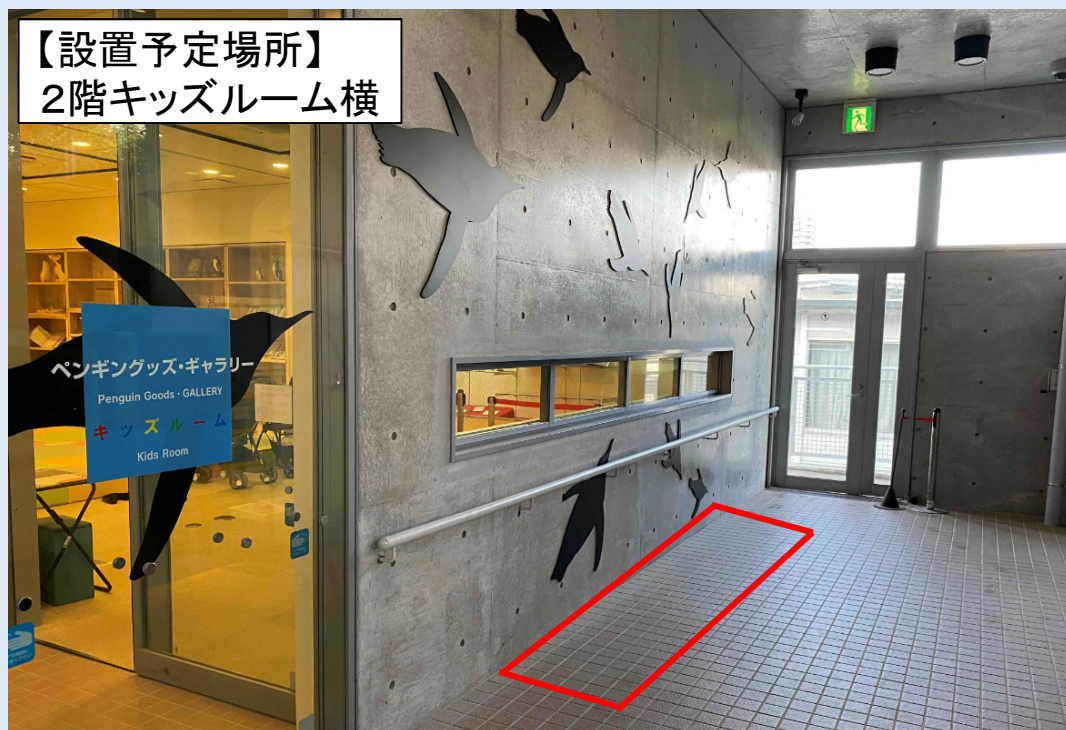
3 事業内容

(5) ベビーケアルーム購入(1基)

内 容: おむつ替えや授乳等が可能な完全個室のベビーケアルームを購入し、キッズルーム付近に配置することで、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、安心してご利用いただける環境を提供し、子ども連れのファミリー層の利便性向上を図るもの。

予算額: 3,067千円

【設置予定場所及び参考商品】



4 財源内訳

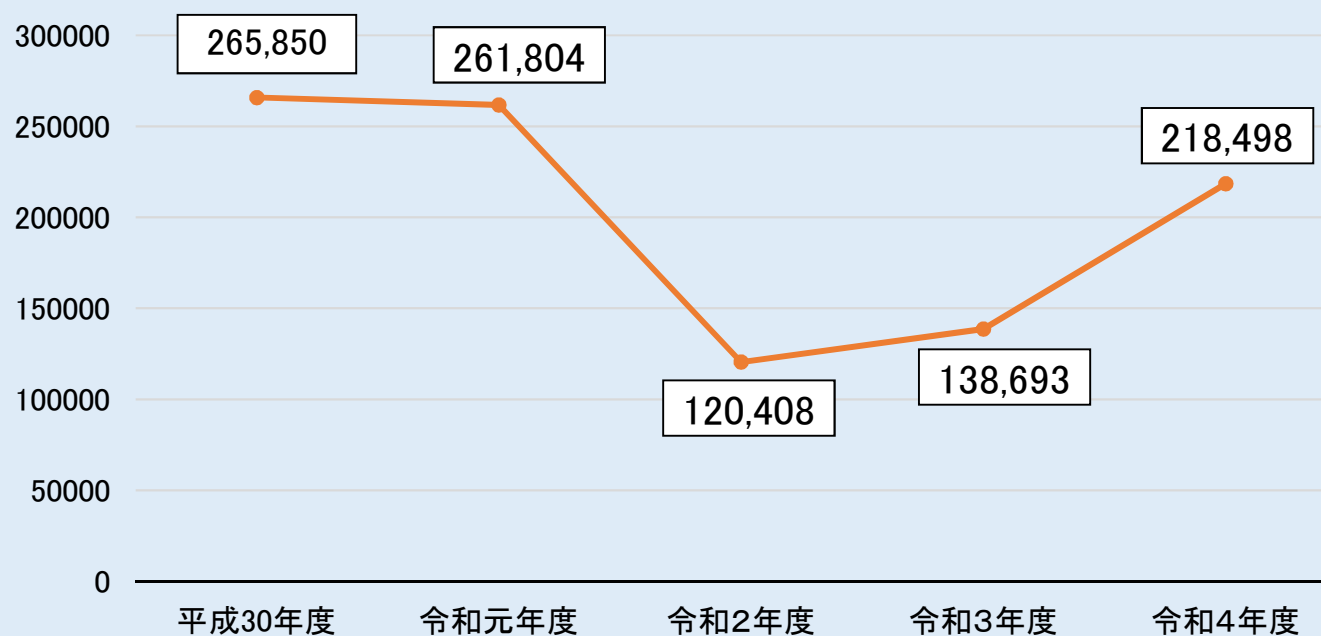
事業費	財源内訳				
	国庫支出金 ※1	県支出金	地方債 ※2	その他	一般財源
千円 52,400	千円 17,972	千円 —	千円 30,900	千円 —	千円 3,528

※1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

※2 公共施設等適正管理推進事業債：充当率90%（交付税措置率30～50%）

参考：入館者数（過去5か年）

長崎ペンギン水族館 入館者数（人）



予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
36～37	6 農林水産業費	1 農業費	3 農業振興費	1-1	長崎びわ生産推進事業費 補助金	千円 655

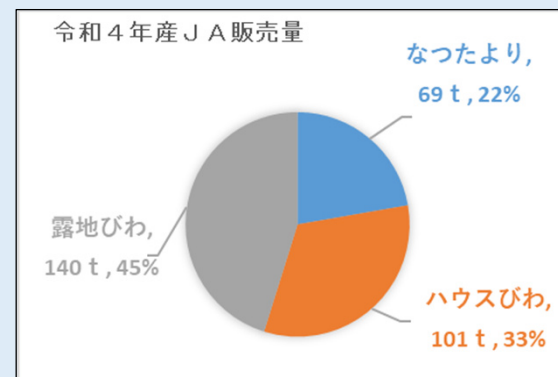
1 事業概要

びわ優良品種「なつたより」は、生産量及び品質の確保、高単価の販売などを目的に、平成20年度から苗木の導入、平成25年度からは、土づくりの省力化を図るための省力化品質向上資材の導入を図っており、販売量は、長崎びわ全体の約2割を占めるまでとなっている。

また、ハウスびわは、長崎びわの中で最も早く出荷され、販売量は長崎びわ全体の約3割であり、高単価で取引される、長崎びわをけん引する品目である。

しかしながら、気象災害や鳥類等による被害が発生し、減収となっていることから、それらに左右されにくい生産体制を確立し、収量の安定・向上により、販売強化につなげる必要がある。

令和5年度から、省力化品質向上資材導入支援の対象を、「なつたより」に加え「ハウスびわ」まで拡大し、併せて収穫時の防鳥対策を推進し、長崎びわをけん引する「なつたより」「ハウスびわ」の収量の安定・向上により再生産の喚起を図り、日本一のびわ産地の次世代につながる産地づくりを進める。



2 事業内容

(1) 省力化品質向上資材（梱包圧縮有機質資材）の導入[拡大分]

ア 事業主体：営農集団

イ 事業内容：「ハウスびわ」の省力化高品質化資材導入（A≒1.0ha 3.6t）

ウ 対象経費：梱包圧縮有機質資材費

エ 総事業費：510千円＝51千円/10a × 1.0ha

オ 補助金額（率） 市：255千円（1/2） 地元負担：255千円（1/2）



【参考】傾斜地での びわハウス



【参考】びわ樹園地での省力化品質向上資材の施用

(2) 防鳥対策機器等の導入[拡大新設]

- ア 事業主体：営農集団
- イ 事業内容：鳥類追払機器等の導入
- ウ 対象経費：機器資材費等
- エ 総事業費：800千円
- オ 補助金額（率） 市：400千円（1/2）



機器本体

スピーカー

音声による追払機器

地元負担：400千円（1/2）

3 財源内訳

区分	事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳				事業者（主） 負担額 ①－②
			県支出金	地方債	その他	一般財源	
現計予算額	千円 4,668	千円 2,334	千円 －	千円 －	千円 －	千円 2,334	千円 2,334
補正額	1,310	655	－	－	－	655	655
補正後	5,978	2,989	－	－	－	2,989	2,989

補助基本額
5,978

1/2

1/2

1/2

4 参 考

【令和5年度当初予算】 2,334千円

(1) なつたよりの補植に係る苗木の導入

ア 事業主体：営農集団

イ 事業内容：びわ優良品種「なつたより」への補植 (A ≒ 6.0ha 1,000本)

ウ 対象経費：苗木代のみ

エ 総事業費：2,118千円=1,925円/本×1,100本

オ 補助金額(率) 市：1,059千円(1/2) 地元負担：1,059千円(1/2)

(2) 省力化品質向上資材(梱包圧縮有機質資材)の導入

ア 事業主体：営農集団

イ 事業内容：「なつたより」の省力化高品質化資材導入 (A ≒ 5.0ha 18.4t)

ウ 対象経費：梱包圧縮有機質資材費

エ 総事業費：2,550千円=51千円/10a×5.0ha

オ 補助金額(率) 市：1,275千円(1/2) 地元負担：1,275千円(1/2)

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
36～37	6 農林水産業費	1 農業費	3 農業振興費	1-2	施設園芸等燃油価格高騰 対策費補助金	千円 5,929

1 事業概要

農業用燃油の価格高騰が施設園芸における農業経営に多大な影響を与えており、現在、国の施設園芸セーフティネット構築事業（※）により価格高騰時の補填がなされているものの、農業者の実質負担は増加しているため、農業経営の継続に支障が生じており、営農意欲の減退にもつながることから、農業者の負担軽減を図るため、燃油購入費の一部を支援するもの。

（※）施設園芸セーフティネット構築事業

国と生産者が1：1で積立を行い、燃油価格が発動基準価格を超えた場合に生産者に補填金が交付される制度

2 事業内容

(1) 補助対象者

市内に住所を有する農業を営む者であり、加温を要する農作物を栽培している者で施設園芸セーフティネット構築事業に加入している認定農業者、認定新規就農者又は実質化された人・農地プランに位置づけられた中心経営体

(2) 補助対象経費

令和5年1月1日から令和5年12月31日までに施設園芸の加温及び炭酸ガス発生に供するために購入した農業用燃油（A重油、灯油）。ただし、施設園芸セーフティネット構築事業による補填が発動されている期間に限る。

(3) 補助額

農業用燃油 1リットルにつき7円

2 事業内容

(4) 総事業費

$$5,929,000\text{円} = 7,700\text{ℓ} (\text{※1}) \times 110\text{戸} (\text{※2}) \times 7\text{円} (\text{※3})$$

(※1) 市内の令和4年度施設園芸セーフティネット構築事業加入者の平均契約量から算出

(※2) 市内の令和4年度施設園芸セーフティネット構築事業加入者数（104戸）と新規加入（6戸）を想定

(※3) 農業用A重油価格 令和3年4月 89.6円/ℓ うち農業者負担分87.2円/ℓ
 令和5年3月 107.6円/ℓ うち農業者負担分94.6円/ℓ
 農業者負担分の上昇分 7円/ℓ



いちごハウス



花きハウス

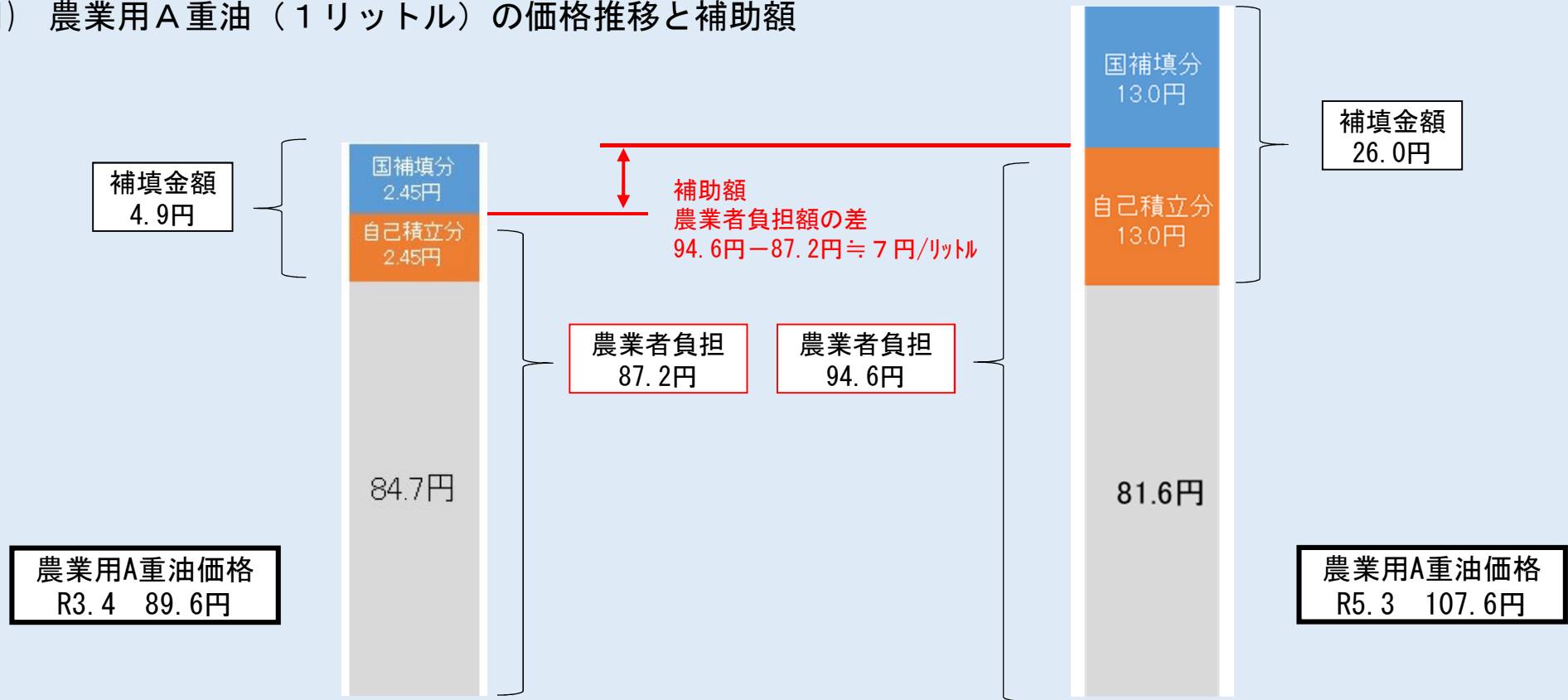
3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
5,929	5,929	—	—	—	—

※ ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（単独）

4 参考

(1) 農業用A重油（1リットル）の価格推移と補助額



(2) 令和4年度施設園芸セーフティーネット構築事業者加入者 契約数量

	生産者数 (戸)	生産面積 (a)	契約数量 (ℓ)
いちご	38	714	299,380
ミニトマト	7	118	70,400
びわ	38	754	218,100
花	21	723	213,100
合計	104	2,309	800,980

※ 1戸当たり平均契約量 7,700ℓ

(3) 令和4年度7月補正実績

施設園芸等燃油価格高騰対策費補助金

施設園芸用A重油・灯油の購入量1リットルにつき10円の補助

予算額：8,990千円

実 績：6,894千円（93戸）

(4) 令和5年度の長崎県の取組み

県：燃油使用量削減機器への補助

予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
36～37	6 農林水産業費	1 農業費	5 畜産業費	1-1	畜産配合飼料価格高騰 対策費補助金	千円 4,480

1 事業概要

畜産用配合飼料の価格高騰が畜産経営に多大な影響を与えており、現在、国の配合飼料価格安定制度(※)により一定の補填がなされているものの、農家の実質負担は増加しており、畜産経営の継続に支障をきたすとともに、経営意欲の減退にもつながることから、畜産経営者の負担軽減を図るため、飼料等購入費の一部を補助するもの。

(※) 配合飼料価格安定制度

配合飼料価格の上昇による畜産経営者の損失を、国、配合飼料メーカー、生産者が積み立てた基金から補填する制度

2 事業内容

(1) 補助対象者

市内に住所を有する畜産業を営む者であり、配合飼料価格安定制度に加入している認定農業者、認定新規就農者又は実質化された人・農地プランに位置づけられた中心経営体

(2) 補助対象経費

令和5年1月1日から令和5年12月31日までの配合飼料又は単体飼料の購入経費(※単体飼料：トウモロコシ、こうりゃん、大麦、小麦等)、ただし、配合飼料価格安定制度による補填が発動されている期間に限る。

(3) 補助額

配合飼料及び単体飼料 1トンにつき 200円

2 事業内容

(4) 総事業費

ア 配合飼料	4,160,000円	=	20,800 t (23戸分) (※1)	×	200円/ t (※2)
イ 単体飼料	320,000円	=	1,600 t (7戸分) (※3)	×	200円/ t
合計	4,480,000円				

(※1) 市内の令和4年配合飼料価格安定制度加入者の契約量から算出

(※2) 令和5年度配合飼料価格安定制度の生産者積立金 600円/tの1/3相当
 今後も飼料価格の高騰が予測されることから長崎県の200円/ t の補助（6月
 補正予算）に加え、長崎市も同等の200円/tの支援とする。

(※3) 市内の配合飼料価格安定制度加入者の令和4年1月1日から
 令和4年12月31日までの単体飼料の購入実績量から算出



肥育牛の牛舎

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
4,480	4,480	—	—	—	—

※ ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(単独)

(1) 令和4年配合飼料価格安定制度契約実績

種類	畜種	戸数	配合飼料契約数 (t)
牛	肥育牛	10	6,301
	繁殖牛	2	24
	交雑牛	4	3,695
豚	養豚	4	1,289
鳥	ブロイラー	3	9,440
合計		23	20,749

(2) 令和4年度7月補正実績

畜産配合飼料価格高騰対策費補助金

配合飼料及び単体飼料 1トンにつき 200円

予算額：5,020千円

実績：4,044千円（19戸）

(3) 令和5年度における長崎県の取組み

配合飼料価格安定制度生産者積立の1/3相当を補助（6月補正予算）

予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
36~37	6 農林水産業費	2 林業費	3 山林管理費	1-1	森林整備促進費	千円 11,992

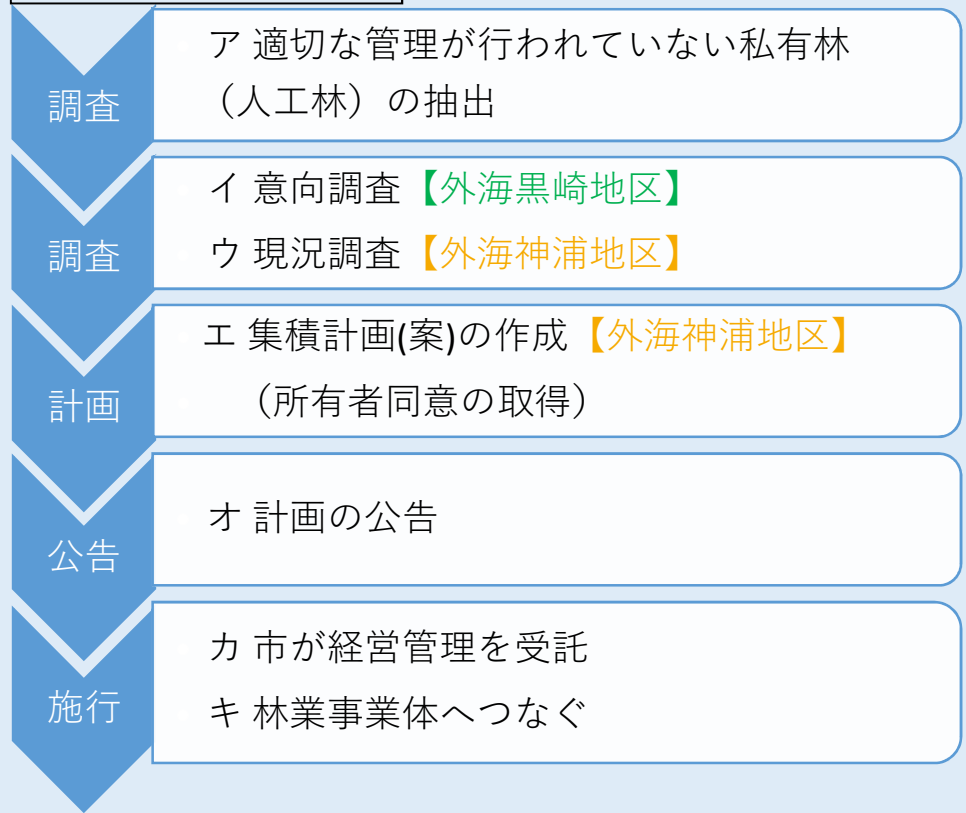
1 事業概要

平成31年4月に森林経営管理法が施行され、森林所有者の適切な経営や管理の責務の明確化や市町村は経営管理を円滑に行われるための措置を講じるよう努めることとされた。

そのため、令和2年度は、適切な管理が必要な森林の抽出や整備の優先度などの検討を行い、この結果をもとに、令和3年度から森林所有者に対し、森林の管理状況や今後の経営・管理の見通しについての意向調査を実施している。

令和5年度においては、森林所有者を対象とした意向調査や、森林の現況調査、経営管理権集積計画(案)の作成を行い、適切な森林管理を推進していくこととしている。

森林整備のフロー図



2 事業内容

(1)事業箇所 外海神浦地区
外海黒崎地区

(2)事業内容

ア 意向調査 8,960千円

森林所有者を対象として、現在の森林の管理状況や今後の経営・管理の見通しについての意向調査。

外海黒崎地区 面積:145ha

イ 現況調査 2,094千円

令和4年度に実施した意向調査で、森林所有者が自ら森林の経営管理をすることができないと回答を得た森林の現況調査。

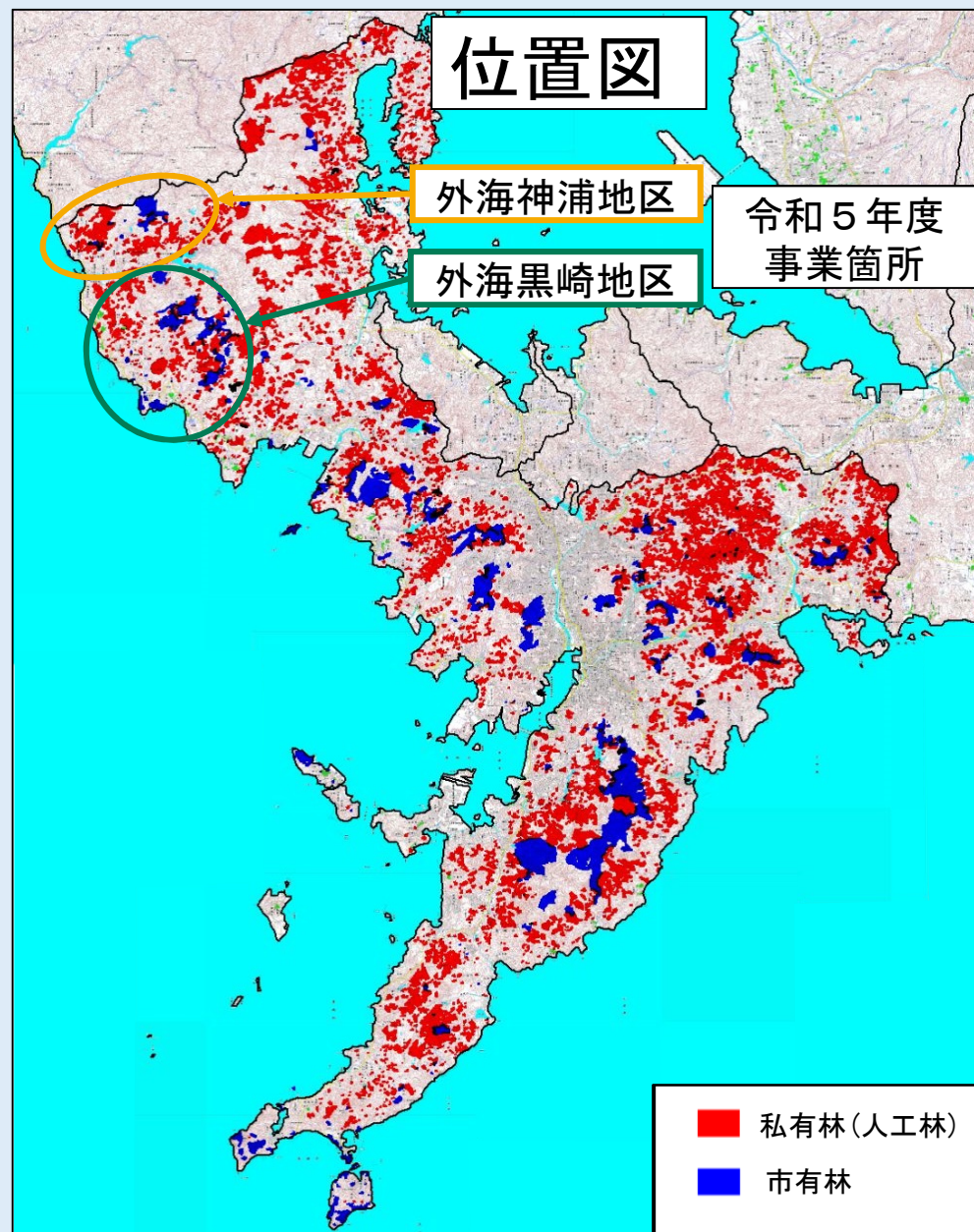
外海神浦地区 面積:10ha

内 容:資料整理・樹種の確認・施業区域の確認等

ウ 集積計画(案)作成 938千円

イ 現況調査 で抽出された森林において集積計画(案)を作成し、森林所有者の同意の取得。

内 容:施業方法等、経営管理の内容や市が受託する期間等を記載した集積計画(案)の作成及び森林所有者への説明・同意取得等



3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
当初予算額	千円 1,450	千円 -	千円 -	千円 -	千円 1,450	千円 -
6月補正額	千円 11,992	千円 -	千円 -	千円 -	千円 11,992	千円 -
補正後の額	千円 13,442	千円 -	千円 -	千円 -	千円 13,442	千円 -

※ 森林環境譲与税基金 充当率100%

【参考】

「森林経営管理法概要」

森林経営管理法（平成31年4月1日施行）

【概要】

1. 森林所有者に適切な森林の経営管理を促すため責務を明確化
2. 森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、市町村が森林の経営管理を受託
3. 市町村は、林業経営に適した森林については、意欲と能力のある林業経営者に再委託
4. 再委託できない森林等については、市町村が管理を実施

適切に経営管理を
実施していない森林

- ①市町村が森林所有者に、所有森林を今後どのように経営管理したいか、意向を確認する。
- ②市町村に委託したいと回答を得た場合は、必要に応じて、市町村と協議の上、経営管理委託手続きを行う。

- ③林業に適した森林は、意欲と能力ある林業経営者に経営管理を再委託。
- ④林業に適さない森林は、市町村が管理する。



引用：林野庁HP

予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
36~37	6 農林水産業費	2 林業費	5 林道建設費	1-1	【単独】自然災害防止事業費 林道	千円 14,700

1 事業概要

長崎市が管理している林道において、危険箇所での法面崩落等による災害の発生、拡大を未然に防ぐため、法面等の改良を行い、車両等の円滑な通行並びに安全性の確保を図るものである。

2 事業内容

【林道新戸町線】

法面に著しい亀裂が確認されたため、崩落を未然に防ぐため、調査・測量、設計業務を実施する。

- ・調査・測量業務
 - ・法面工詳細設計
- L=60.0m
一式

3 スケジュール

	7~9月	10~12月	1~3月	次年度 (予定)
調査・測量・設計				
自然災害防止工事				

4 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他	一般財源
当初予算額	千円 6,300	千円 -	千円 -	千円 6,300	千円 -	千円 -
6月補正額	千円 14,700	千円 -	千円 -	千円 14,700	千円 -	千円 -
補正後の額	千円 21,000	千円 -	千円 -	千円 21,000	千円 -	千円 -

※1 一般単独事業債・自然災害防止事業 充当率100%(交付税措置率 28.5~57%)

【単独】自然災害防止事業費 林道
新戸町線



予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
36～37	6 農林水産業費	3 水産業費	1 水産業総務費	1-1	【単独】水産業施設整備事業費 伊王島海水浴場交流施設	千円 11,100

1 概要

伊王島海水浴場交流施設は、平成12年に建設され築22年を超えており、経年劣化や塩害により、錆等の腐食が著しい。

伊王島地区の主要施設の1つであり、危険個所については改修を行い、施設利用者の安全性を確保する必要がある。

2 事業内容

(1) 水廻棟の床、窓枠ほか改修

工事内容

- ・ 床改修工事(腐食・劣化した床の補修工事)

水廻棟シャワー・更衣室(男子、女子・多目的)、トイレ(男子・女子・多目的)女子更衣室、ロッカー室及び研修室の床の改修工事

- ・ 水廻棟窓枠改修工事

腐食により開閉が困難になっている窓枠の改修

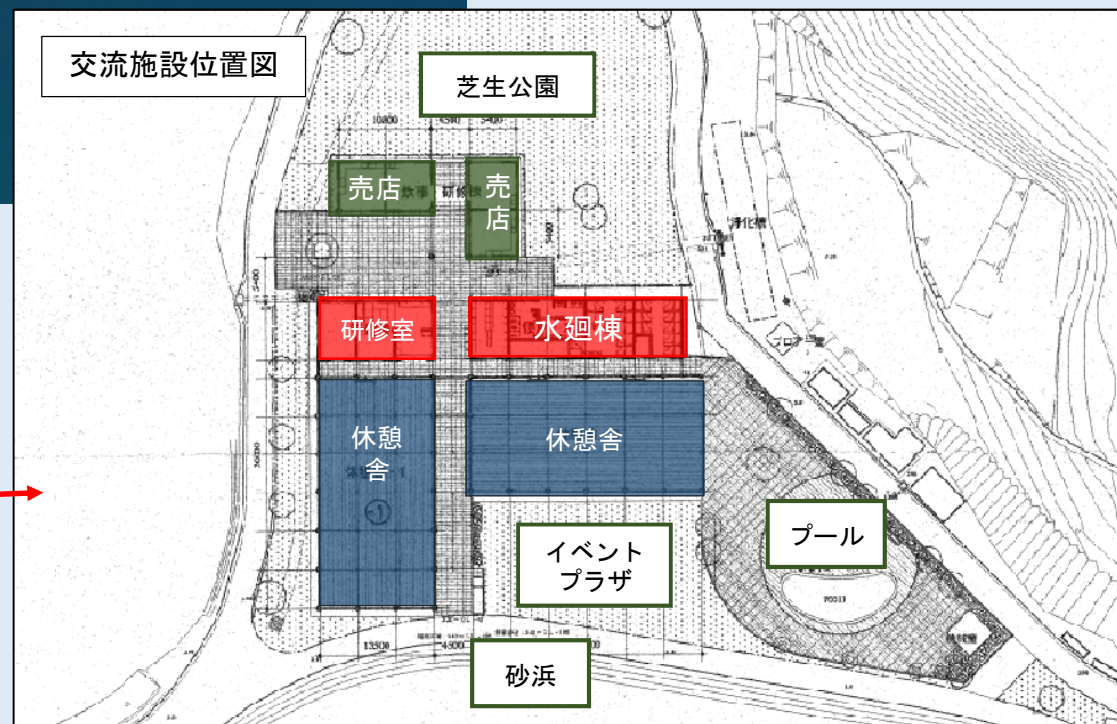
- ・ 雨水排水用側溝新設

水廻棟及び研修室入口に側溝の設置による室内への水の進入防止を行う。

予算額 : 11,100千円

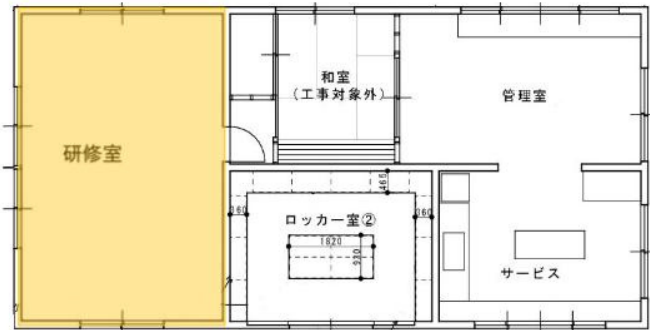
3 配置図

伊王島海水浴場交流施設



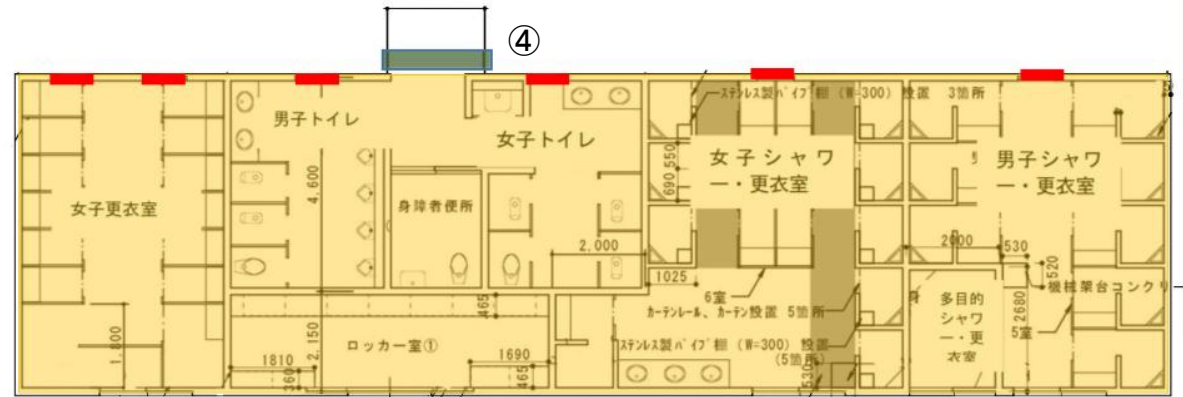
4 水廻棟、研修棟 平面図・現況写真

床改修部分
 窓枠改修箇所
 雨水排水用側溝設置箇所



①

窓枠 (開閉が困難となっている)



②

男子トイレ床

③

多目的トイレ床



【窓枠の改修】6か所

- ・女子更衣室
- ・男子トイレ・女子トイレ
- ・女子シャワー・更衣室
- ・男子シャワー・更衣室



【床の改修】

- ・シャワー・更衣室 (男子・女子・多目的)
- ・トイレ (男子・女子・多目的) 女子更衣室、ロッカー室
- ・研修室の床

4 水廻棟、研修棟 平面図・現況写真

雨水進入の様子(雨天翌日)



入口付近に水が溜まる為、雨水排水用側溝新設 4箇所



【雨水排水用側溝新設】4箇所

・側溝を設置した後、グレーチングを設置する。

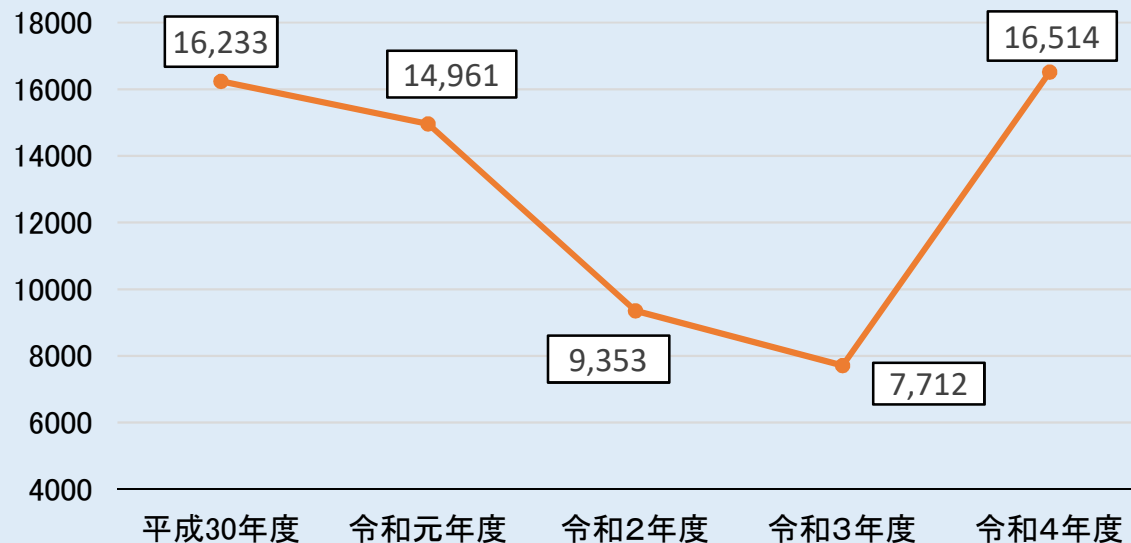
5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
千円 11,100	千円 -	千円 -	千円 11,100	千円 -	千円 -

※ 過疎対策事業債 充当率100%(交付税措置率70%)

参考：利用者数(過去5か年)

伊王島海水浴場交流施設 利用者数(人)



予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
36~37	6 農林水産業費	3 水産業費	2 水産業振興費	1-1	さしみシティ推進事業費	千円 14,772

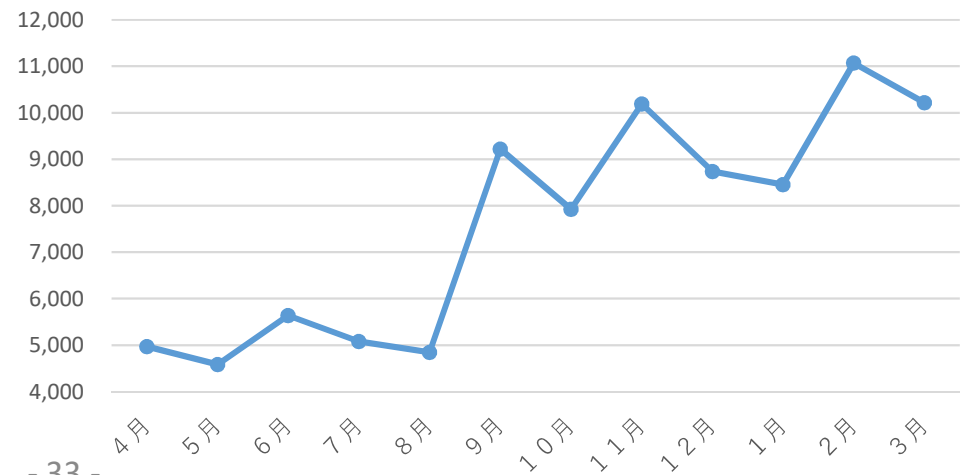
1 概要

出島メッセ長崎・西九州新幹線・新長崎駅の開業、そして新型コロナウイルス感染症の感染症法上の5類移行など、長崎を訪れる観光客も増加している。この機会を捉え、長崎の魚の消費拡大を図るため、民間事業者やDMOと連携して域内外へのPRを実施することにより、市民や観光客に長崎＝「さしみシティ」として認知され、「長崎の魚」が観光コンテンツの一つとして定着することを目指す。

指標	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
観光客の「長崎の魚」の認知度	37.1%	36.5%	55.8%	56.1%	52.1%	61.5%	54.6%	58.5%	56.2%
観光客が食べた(食べる予定の)魚料理の割合(鯨含む)	34.4%	33.0%	40.7%	37.4%	34.5%	45.0%	45.4%	42.3%	53.4%
観光客の「さしみシティ」認知度	-	-	-	-	-	-	-	5.9%	12.7%
市民の「さしみシティ」認知度	-	-	-	-	-	-	-	9.6%	21.7%



ながさきイズさしみシティHP閲覧数推移



2 事業概要

さしみシティPR事業費 14,772千円

市民や観光客の認知度を向上させるため、SNSやHPの内容を充実させながら、民間事業者やDMOと連携し域内外へのプロモーションを強化する。

【事業内容】

ア 着実な着地型の情報発信

3,878千円

さしみシティ賛同店舗ガイドブックを増刷し、長崎市への訪問客に対し、魚料理を食べることができる店舗情報を発信する。

- ・さしみシティ賛同店舗ガイドブック印刷費 1,254千円（拡大）
- ・空港線高速バスシートポケット広告 1,931千円（拡大）
- ・九州号シートポケット広告 693千円（新規）

イ 域内外への情報発信

10,894千円

域外向け雑誌記事掲載や、さしみシティプロモーションを実施する。

- ・域外向け雑誌記事掲載 1,210千円（拡大）
- ・さしみシティプロモーション業務委託 9,684千円（拡大）

（さしみシティ賛同店舗等の情報発信、

飲食店街の街路灯にフラッグを掲げさしみシティを顕在化、

Instagramフォローキャンペーン、インスタグラマーによる情報発信、

民間事業者との連携・サポートなど）



ガイドブック



空港線シートポケット



域外雑誌



さしみシティ情報発信



街路灯フラッグ（イメージ）

3 財源内訳

	事 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
当初予算	千円 2,654	千円 1,327	千円 -	千円 -	千円 -	千円 1,327
6月補正	14,772	12,228	-	-	2,544	-
補正後	17,426	13,555	-	-	2,544	1,327

※1 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）1/2 （3,871千円）
 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 10/10 （9,684千円）

※2 観光交流基金繰入金

4 事業概要(当初)

さしみシティPR事業費 2,654千円

ア さしみシティプロジェクト認定制度 30千円

四季を通して新鮮で豊富な魚種が味わえる長崎の強みを活かした「さしみシティ」実現の趣旨に賛同し、主体的に進めようとする市民や企業の多様な取組みを、長崎市がさしみシティプロジェクトとして認定することで、取組みの信頼性を増し、モチベーションアップにつなげるとともに、埋もれた取組みを顕在化し、賛同者・追随者を増やすことで新たな取組みを誘発する。

- ① 対象者 市民又は企業等
 - ② 対象事業 機運醸成、魅力向上、情報発信等
 - ③ 認定方法等 公募を実施し、事業申請内容を審査して認定
- さしみシティプロジェクト認定書を交付し市ホームページ等で周知



イ さしみシティPR事業費 2,354千円

民間主体の取組推進のためのPRや、キャッチコピー「さしみシティ」を軸とした各種PRに取り組む。

【事業内容】

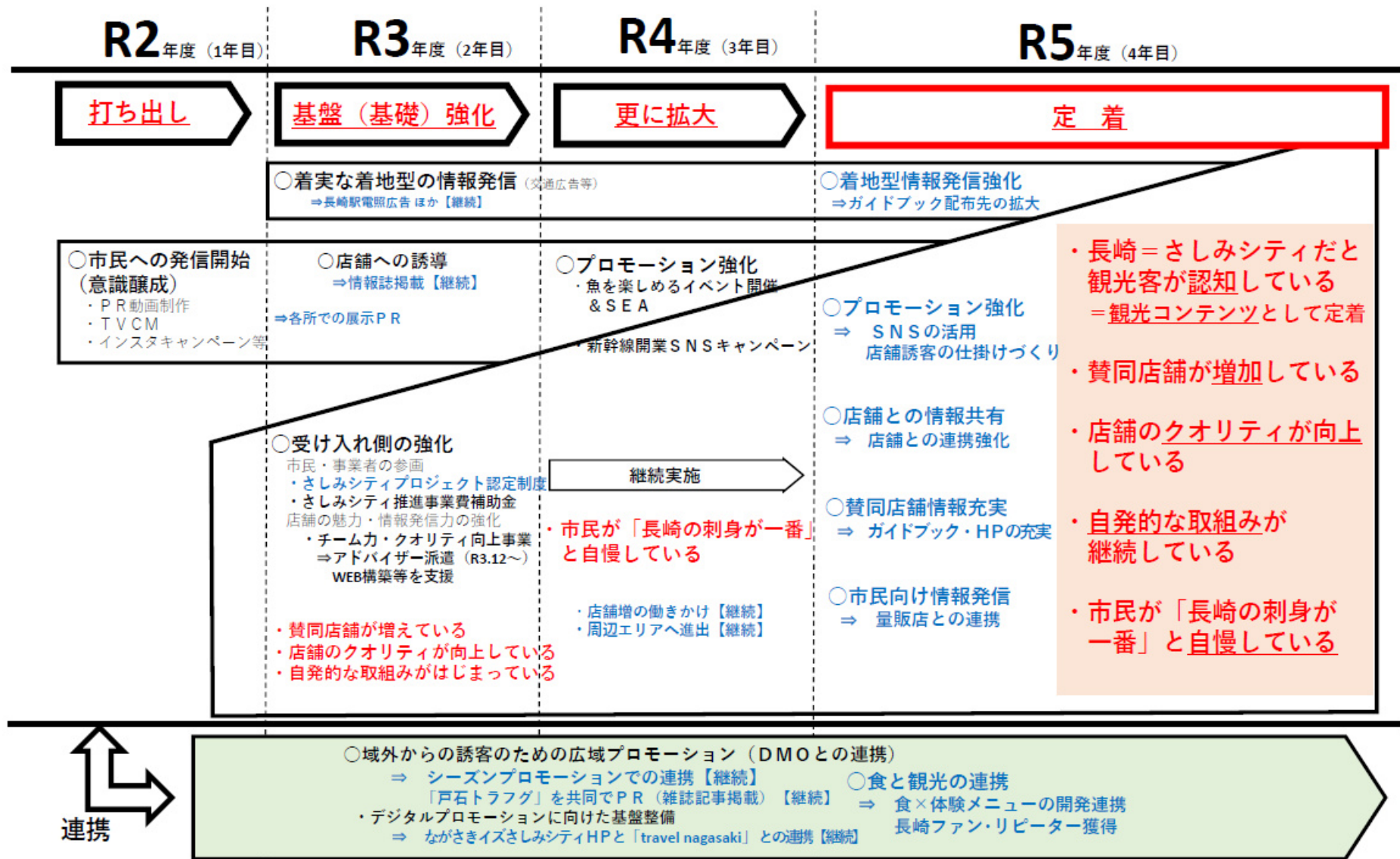
- ① 着実な着地型の情報発信 1,188千円
長崎駅いなさ口（西口）での電照広告を継続して実施する。
- ② 域内外への情報発信 1,166千円
域内向け雑誌広告掲載や、戸石とらふぐ料理フェアのPR支援を継続する。



ウ その他経費 270千円

HPサーバー保守点検

さしみシティ推進事業について



・長崎=さしみシティだと観光客が認知している
=観光コンテンツとして定着

・賛同店舗が増加している

・店舗のクオリティが向上している

・自発的な取組みが継続している

・市民が「長崎の刺身が一番」と自慢している

令和4年度の主な取組み

「四季の美味しい魚提供店」から「さしみシティ賛同店舗」へリニューアル

「四季の美味しい魚提供店」としてこれまでPRしてきましたが、長崎がさしみが美味しい「さしみシティ」であることを、より多くの方にご認識いただけるよう、「さしみシティ賛同店舗」として名称を変更しました。

3/31 現在、**103 店舗**を登録し、さしみシティガイドブックは、今年度約**2万部**の配布を行いました。

※設置箇所：観光案内所、市内観光地、市内ホテル、市内イベント、空港線シートポケットなど

賛同店舗から、「ガイドブックを見て来店された方もいらっしやった」というお声をいただいています。



長崎観光国際コンベンション協会（DMO）との連携

長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」のグルメページ「ナガサキ飯」においてジャンル「魚」にさしみシティ賛同店舗を掲載しました。

長崎に観光に来た方が飲食店を探す際、より見つけやすくなったほか、各店舗の紹介だけでなく、長崎の食を魅力的に伝える手法としてWEBマガジン仕立ての特集記事を掲載することで、訪問客の実行動に繋がっています。



魚のハナシ

長崎は、漁獲量は全国トップクラス。獲れる魚種に定ってはナンバーワンという、全国屈指の海産王国です。日本の最西端にある長崎県はその三方を海で囲まれていて、海産物や海産、地産など、魚介の宝庫に優れた多様性あふれる豊漁海域を誇っています。その数は250種類を超え、四季ごとに異なる旬の魚介のおいしさを享受することができます。もちろん、新鮮な海の幸だけあって、食感も召みも抜群！との飲食店や居酒屋に足を運んでも、獲れたての海鮮料理が楽しめます。刺身はいずれも脂がのって、コリコリ、プリプリの食感。長崎市はながさきサイズさしみシティと称して長崎のさしみの普及にも取り組んでいるほど、長崎特有の旨味の刺身漁漁との歴史も豊富です。もちろん、和・洋・中の食文化が交錯する長崎だけあって、食のパリエーションも豊富。長崎県を代表する食文化のひとつ「鮎」や瀬戸産日本一の「とらふく」、その他いろいろなブランド魚や特産も多いので、特定の魚種を求めて楽しむのもオススメです。

ながさきサイズさしみシティはここへ



SNSの活用

若い世代へ「さしみシティ」を訴求するため、SNS「Instagram、twitter、LINE、facebook」を活用したPRを継続して実施しています。

「#さしみシティ」だけでなく、「#長崎」「#長崎グルメ」などのキャッチコピーを活用することで、さしみシティの取組みを知らない方でも情報を取得できる環境を整備するだけでなく、より閲覧者が食べに行きたくなるきっかけづくりのため、「さしみシティ日記」と題し、さしみシティ賛同店舗の料理写真及びメニューの紹介を行うとともに、西九州新幹線開業や食のイベントと連携した発信に努めています。



イベントでの露出

長崎「食」の博覧会、ながさき実り・恵みの感謝祭、長崎さかな祭りなどで、ポスター掲示やガイドブック配布などを実施したほか、「&SEA」を出島ワープで開催しました。



メディアへの幅広い露出

- ・西日本フィナンシャルホールディングス「ミニディスクロージャー誌」
- ・ながさきプレス「ながさきプレス12月号」
- ・講談社ビーシー「大人の週末web」
- ・長崎新聞
- ・ANA「翼の王国」
- ・ながさきプレス「ランタンブック」



ブランド魚のPR

◎「戸石ゆうこうシマアジ」「戸石ゆうこう真鯛」

長崎の伝統柑橘「ゆうこう」を餌に混ぜて育てた長崎市初のフルーツ魚。

長崎のブランド魚としての定着を目指して、下記の実施を行いました。

- ・市長贈呈式を行い、広くメディアに露出しました。
- ・エレナ・ジョイフルサンでの販売にあたり、広報支援を行いました。
- ・ふるさと納税、旅行商品としての登録支援を行いました。



◎「黄金ぶり」「黄金ひらす」

三重地区で養殖されブランド化を進めている「黄金ぶり」。

より多くの方に認知して頂くため、下記の実施を行いました。

- ・食卓の日×黄金ぶり…市役所食堂「ル・シェフ」にて、
『黄金ぶり大根 ~ゆずとクリームチーズ添え~』を提供
- ・広報ながさき×黄金ぶり…広報ながさき 12月号に、黄金ブリを使った長崎雑煮のレシピを掲載。表紙写真にも取り上げました。



料理フェアの開催

長崎が養殖量日本一を誇る「トラフグ」と、鯨食量日本一を誇る「くじら」を、より多くの方に楽しんでいただくため、「戸石とらふぐ料理フェア」と「くじら今昔料理フェア」を開催しました。

- ・「戸石とらふぐ料理フェア」：R4.11.29(いいふぐの日)～R5.2.28 まで開催、32 店舗参加
- ・「ながさき今昔くじら料理フェア」：R4.11.1～R4.11.30 まで開催、39 店舗参加



予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
38～39	6 農林水産業費	3 水産業費	2 水産業振興費	1-2	新規漁業就業促進費	千円 1,150

1 概要

長崎市における新規漁業就業者の確保及び育成を図るため、研修を終了した新規着業者に対し、着業当初に必要な初期投資費用及び着業後の経営が不安定な時期の燃料費等の継続的な支援を行うもの

2 事業内容

新規着業者フォローアップ

(1) 内容：新規着業者に対し、着業後の経営が不安定な時期の燃料費等の継続的な支援

- ア 研修終了後の経常的にかかる燃油・資材費・保険料等の経費に対する支援をこれまでの最大1年から最大3年に延長
定額：月額50千円
- イ 着業当初（着業から1年以内）に必要な初期投資（漁船・漁網等の購入やエンジン改修等）の支援を新設
補助率：1/2 上限500千円

(2) 補正額 1,150千円

単位：千円

	当初金額	変更金額	当初月数	変更月数	当初予算額 ①	補正後 予算額②	補正額 ②-①
新規着業者Aの 経常経費（月額）	50	50	9 (R5.4～R5.12)	12 (R5.4～R6.3)	450	600	150
新規着業者Bの 経常経費（月額）	50	50	12 (R5.4～R6.3)	12 (R5.4～R6.3)	600	600	—
新規着業者Aの 初期投資（年額）	0	<u>500</u>	—	—	0	500	500
新規着業者Bの 初期投資（年額）	0	<u>500</u>	—	—	0	500	500
計					1,050	2,200	1,150

(3) 負担内訳 市100% 1,150千円（うち過疎地域活性化基金繰入金 500千円）

3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金※1	地方債	その他※2	一般財源
補正前の額	千円 5,250	千円 —	千円 2,100	千円 —	千円 2,075	千円 1,075
補正額	千円 1,150	千円 —	千円 —	千円 —	千円 500	千円 650
補正後の額	千円 6,400	千円 —	千円 2,100	千円 —	千円 2,575	千円 1,725

※1 漁業と漁村を支える人づくり事業費補助金

※2 過疎地域活性化基金繰入金

【参考：令和5年度当初予算】

1 漁業就業実践研修事業

(1) 漁業就業希望者（研修生）の技術習得に係る研修期間中の必要経費について支援

ア 研修費（漁家子弟） 月額100千円×12ヶ月×2名＝2,400千円

イ 研修費（独立型漁業） 月額125千円×6ヶ月×1名＝750千円

ウ 研修中の漁業経費 年額50千円×3名＝150千円

(2) 受入指導者に対する指導謝金を支出

指導謝金（独立型漁業） 月額150千円×6ヶ月×1名＝900千円 計 4,200千円

2 新規着業者フォローアップ

着業後の経常的にかかる燃油・資材費・保険料等の経費に対する支援

月額 50千円×9ヶ月×1名＝450千円

月額 50千円×12ヶ月×1名＝600千円 計 1,050千円

合計 5,250千円

予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
38 ~ 39	6 農林水産業費	3 水産業費	2 水産業振興費	2-1	漁業用燃油価格高騰対策費 補助金	千円 60,685

1 概要

市内における漁業を取り巻く環境としては、物価高騰及び漁業用燃油（A重油、ガソリン、軽油）価格の高騰が続き、漁業者の経営に多大な影響を与えている。

現在、燃油高騰対策として、国の漁業経営セーフティーネット構築事業^(※)により一定の補填がなされているものの、漁業者の実質負担は増加しており、漁業活動の継続に支障をきたすおそれがあるとともに、出漁意欲の減退にもつながることから、漁業活動の継続と経営の安定を図るため、燃油購入費の一部を支援するもの。

※漁業経営セーフティーネット構築事業（国）

燃油価格の上昇に備えて漁業者と国が資金を積立てているもので、原油価格が一定の基準を超えて上昇した場合に補填金が支払われる制度。上昇に応じて国の負担割合を段階的に高めて補填がなされる。

2 事業内容

(1) 補助対象者

ア 沿海漁業協同組合に所属する組合員

イ 大中型まき網漁業又は以西底びき網漁業を営む漁業法人

ただし、漁業経営セーフティーネット構築事業（燃油）に加入している者に限る。

また、イの漁業法人は市内に本店を有し、市内に水揚げを行う者で、長崎県旋網漁業協同組合又は長崎県以西底曳網漁業協会に所属する者に限る。

(2) 補助対象期間

令和5年1月1日から令和5年12月31日

ただし、漁業経営セーフティーネット構築事業による補填が発動されている期間に限る。

(3) 補助金額

漁業用燃油（A重油、ガソリン、軽油）の購入量1リットルにつき7円

ただし、1事業者の上限を500万円とし、令和5年度のセーフティーネット申込数量を限度とする。

(4) 総事業費

	上限の有無	事業者数	年間購入量	事業費
沿岸漁業	上限を超えない	203	2,955kℓ	7円/ℓ×2,955,000ℓ= 20,685千円
	上限を超える	1	830kℓ	5,000千円×1者= 5,000千円
沖合漁業	上限を超える	7	28,400kℓ	5,000千円×7者= 35,000千円
計		211	32,185kℓ	60,685千円

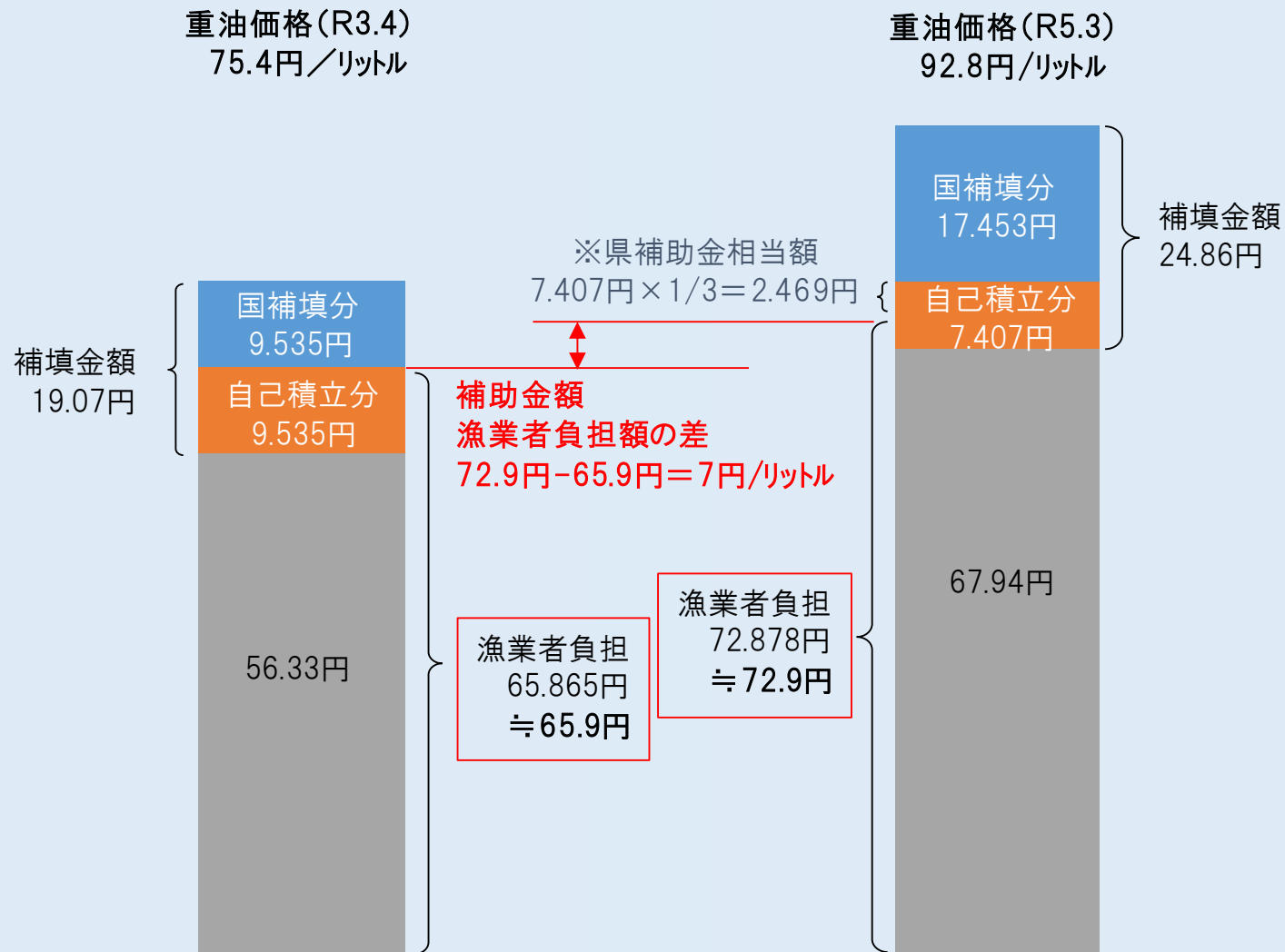
※沖合漁業：大中型まき網漁業又は以西底びき網漁業を営む漁業法人

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 60,685	千円 60,685	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

【参考】



※県補助金：漁業経営セーフティーネット活用促進事業費
漁業経営セーフティーネット制度への加入・継続に必要な
経費を支援 補助率 3分の1

■令和4年度7月補正実績

漁業用燃油価格高騰対策費補助金

漁業用燃油の購入量1リットルにつき10円の補助

予算額：63,200千円

実績：54,467千円（前期：154件、後期：151件）

予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
38 ~ 39	6 農林水産業費	3 水産業費	2 水産業振興費	2-2	養殖用配合飼料価格高騰 対策費補助金	千円 16,161

1 概要

市内養殖業においては、原油価格、物価高騰の影響を受け経営が厳しい状況が続いており、特に養殖用の配合飼料については、魚粉の輸入価格高騰により価格の値上がりが続き、さらに経営が厳しい状況となっている。

現在、配合飼料の価格高騰対策として、国の漁業経営セーフティーネット構築事業^(※)により価格補填がなされているものの、今後も高止まりが続けば事業の継続に多大なる影響が生じ、安価な飼料を使用することで価格高騰の対応を行えば、品質の低下を招く恐れもあることから、市内養殖業者の事業継続と経営安定化並びに品質の維持を図るため、配合飼料の購入費の一部を支援するもの。

※漁業経営セーフティーネット構築事業（国）

配合飼料の価格上昇に備えて漁業者と国が資金を積立てているもので、配合飼料の価格が一定基準を超えて上昇した場合に補填金が支払われる制度。

2 事業内容

- (1) 補助対象者 市内漁協に所属する養殖漁業者（11事業者）
ただし、漁業経営セーフティーネット構築事業（配合飼料）に加入している者に限る。
- (2) 補助対象期間 令和5年1月1日から令和5年12月31日
ただし、漁業経営セーフティーネット構築事業による補填が発動されている期間に限る。
- (3) 補助金額 配合飼料の購入量1kgにつき7円
ただし、1事業者の上限を300万円とし、令和5年度のセーフティーネット申込数量を限度とする。

(4) 総事業費

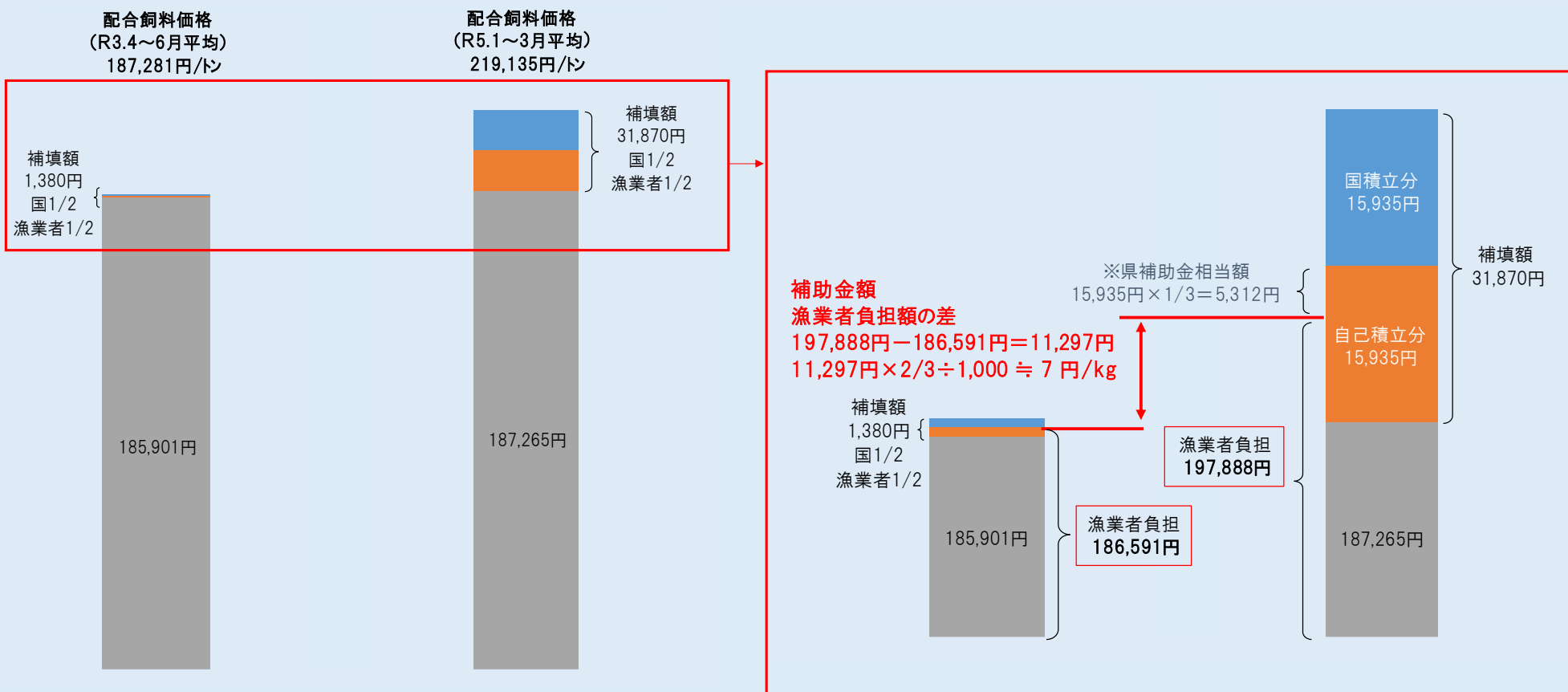
上限の有無	事業者数	年間購入量	事業費
上限を超えない	8	1,023トン	7円/kg × 1,023,000kg = 7,161千円
上限を超える	3	5,300トン	3,000千円 × 3者 = 9,000千円
計	11	6,323トン	16,161千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 16,161	千円 16,161	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

【参考】



※県補助金：養殖用配合飼料高騰対策事業費
 漁業経営セーフティーネット制度への加入・継続に必要な経費を支援 補助率3分の1

予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
38 ~ 39	6 農林水産業費	3 水産業費	2 水産業振興費	3-1	【単独】漁場施設整備事業費 網場漁場浮消波堤	千円 12,000

1 概要

網場地区において、外洋に面した海域に養殖場の造成を行うため、静穏域を確保することを目的とした浮消波堤を設置しているが、係留チェーンに摩耗箇所が見られたことから、施設の機能を維持するため、補修工事を行うもの。

2 事業内容

- (1) 事業個所：長崎市網場湾
- (2) 事業内容：係留チェーン補修 一式
- (3) 事業費：12,000千円



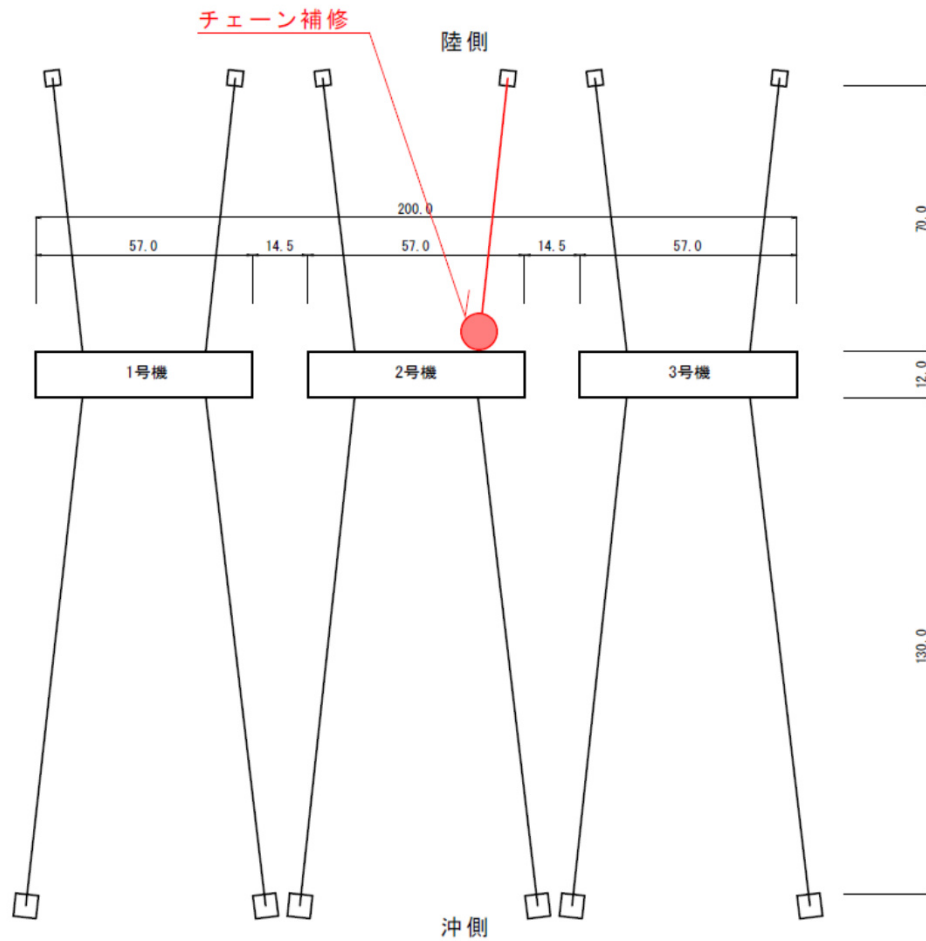
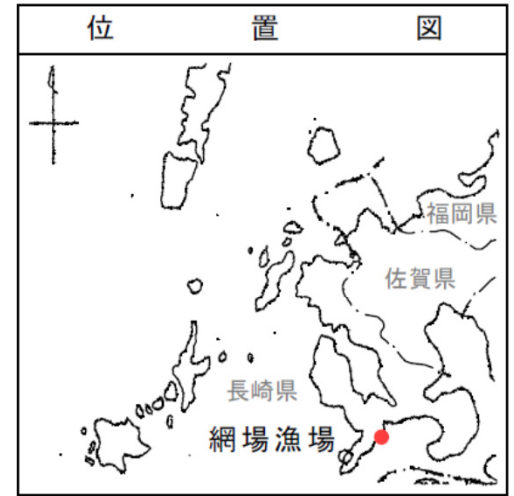
係留チェーン（現状）

3 財源内訳

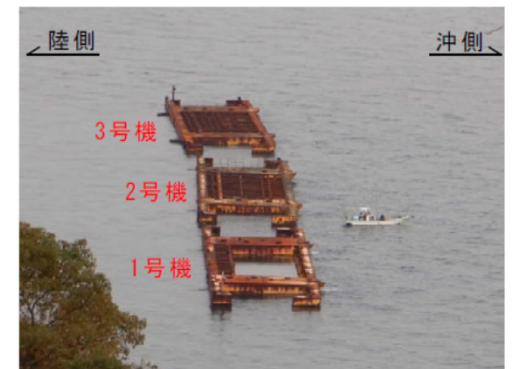
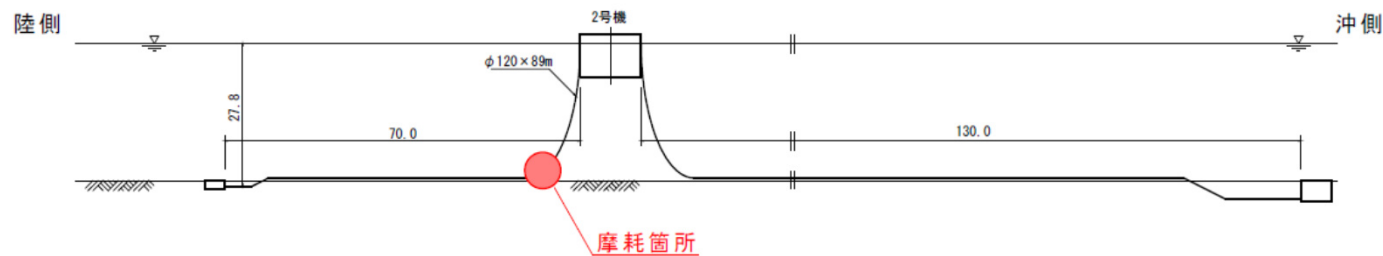
事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 12,000	千円 -	千円 -	千円 9,000	千円 -	千円 3,000

※一般単独事業債(一般分)充当率75% (交付税措置率-%)

**【単独】漁場施設整備事業費
網場漁場浮消波堤**



断面図 (2号機)



予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
38 ~ 39	6 農林水産業費	3 水産業費	2 水産業振興費	4-1	【単独】水産業振興対策事業費 負担金・補助金 漁業流通拡大事業費	千円 13,000

1 概要

コロナ禍における原油価格・物価高騰などの厳しい事業環境にある漁業協同組合の経営基盤の強化を図るため、流通拡大やDX推進による生産性の向上及び事業の効率化や省エネルギー化によるコスト削減の取組みに対し支援を行うもの。

2 事業内容

(1) 補助対象者

市内の漁業協同組合（7漁協）

(2) 補助対象事業

ア 流通拡大・DX推進事業

新サービスの展開や新規販路開拓、デジタル化のための機器導入に係る経費

イ 事業効率化・省エネ対策事業

効率的な配送を行うための車両導入や漁業規模に応じた冷凍設備等の整備に係る経費

(3) 補助の内容

ア 補助率 3分の2

イ 補助限度額 3,000千円（1団体あたり）

(4) 総事業費

ア 流通拡大・DX推進事業

補助対象経費 500千円×2／3×3≒1,000千円

イ 事業効率化・省エネ対策事業

補助対象経費 4,500千円×2／3×4=12,000千円 計 13,000千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 13,000	千円 13,000	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
38~39	6 農林水産業費	3 水産業費	3 漁港管理費	1-1	漁港維持管理費	千円 16,000

1 事業概要

長崎市が管理する漁港施設は、波浪や塩害などで全体的に老朽化が進行している。

このため、漁港施設の現況調査を行い、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化と縮減を図るため、漁港施設の老朽化診断などを行うもの。

2 事業内容

(1)事業箇所:長崎市 牧島町 ほか

(2)事業内容:たちばな漁港漁港施設定期点検
業務委託 一式

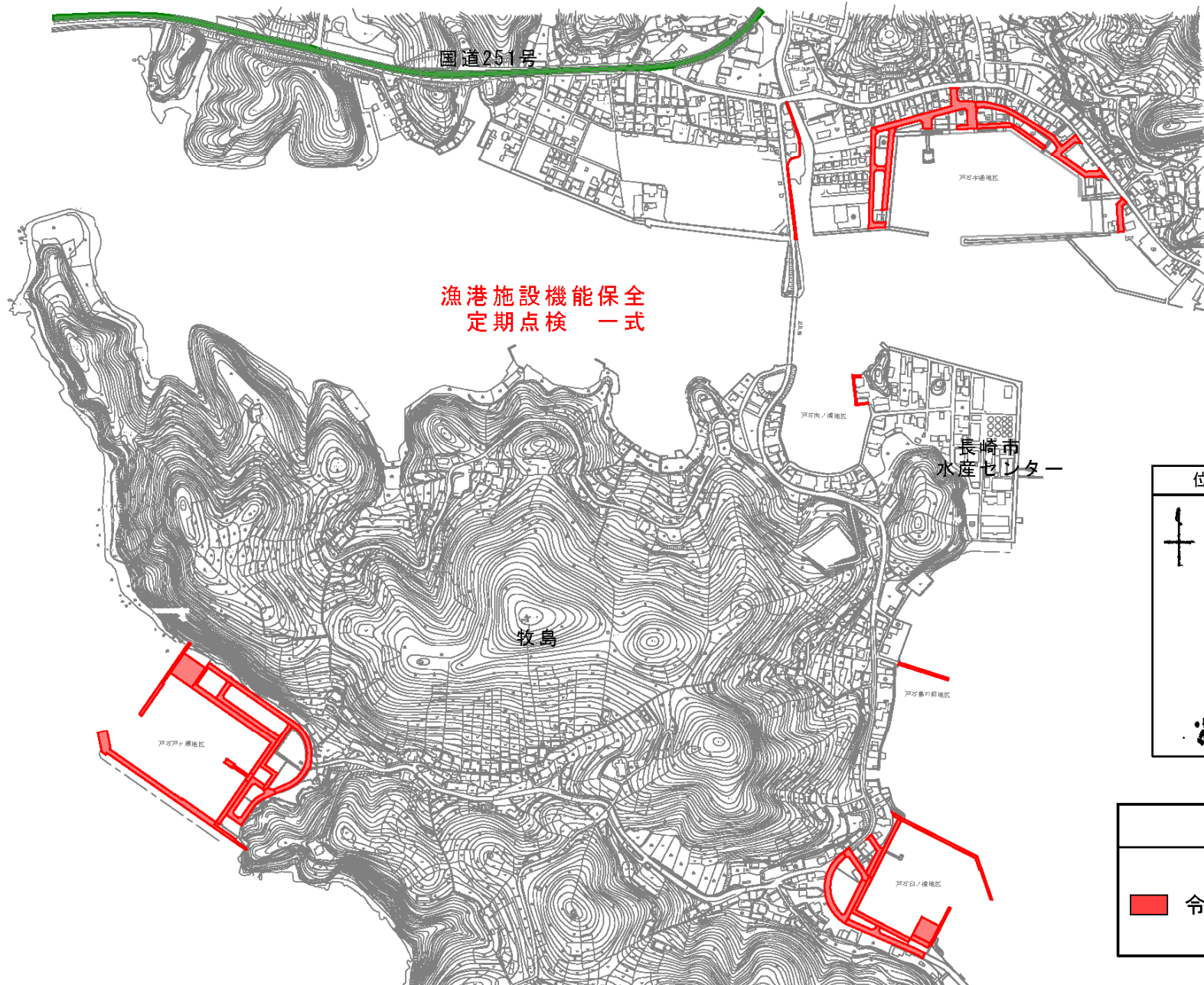
(3)事業費:16,000千円

3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
補正前の額	千円 31,840	千円 -	千円 -	千円 -	千円 9,892	千円 21,948
補正額	千円 16,000	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 16,000
補正後の額	千円 47,840	千円 -	千円 -	千円 -	千円 9,892	千円 37,948

※ 漁港使用料、漁港占用料など

たちばな漁港計画平面図
漁港維持管理費



凡例

	令和5年度業務予定箇所
--	-------------

予算説明書

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
38~39	6 農林水産業費	3 水産業費	5 水産センター費	1-1	【単独】水産センター施設整備 事業費 水産センター	千円 18,800

1 事業概要

水産センターにおいて、施設の改修等を行う。

2 事業内容

(1) 浮棧橋連絡橋補修調査設計業務(4,810千円)

老朽化した浮棧橋連絡橋の補修を実施するための調査設計業務委託を行う。

- ・改修箇所：浮棧橋連絡橋
- ・材質：鋼材
- ・整備年度：平成7年度

(2) 養成機械棟解体工事(13,990千円)

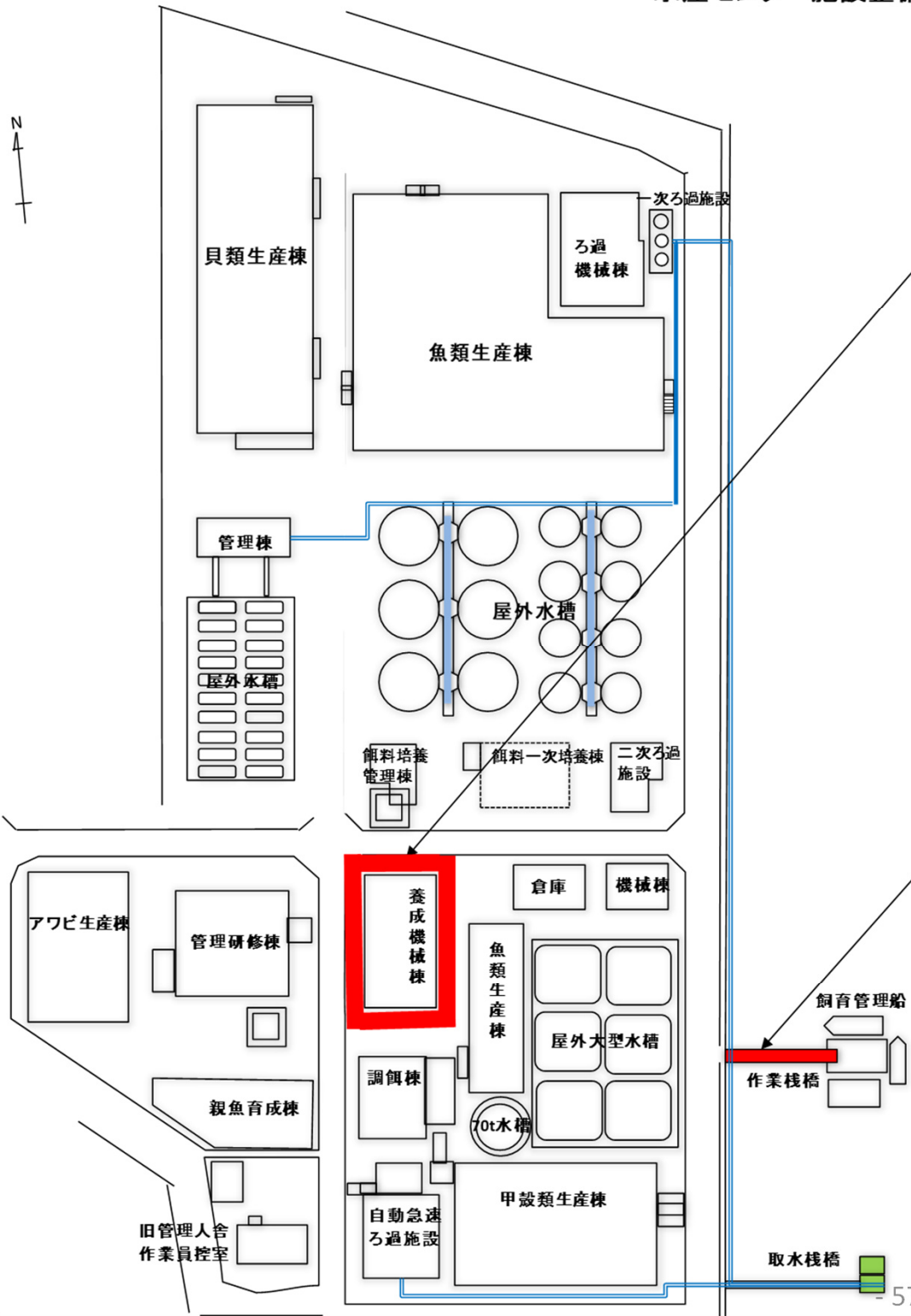
老朽化が著しい養成機械棟の建物解体工事を行う。

- ・構造・規模：S造(軽量鉄骨造)
- ・面積：200m²
- ・整備年度：昭和48年度

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 18,800	千円 -	千円 -	千円 12,500	千円 -	千円 6,300

※公共施設等適正管理推進事業債(施設解体に適用) 充当率90%(交付税措置率-%)



【(2)養成機械棟解体工事】
養成機械棟の建物解体工事



【(1)浮棧橋連絡橋補修調査設計業務】
浮棧橋連絡橋の補修を実施するための調査設計業務

